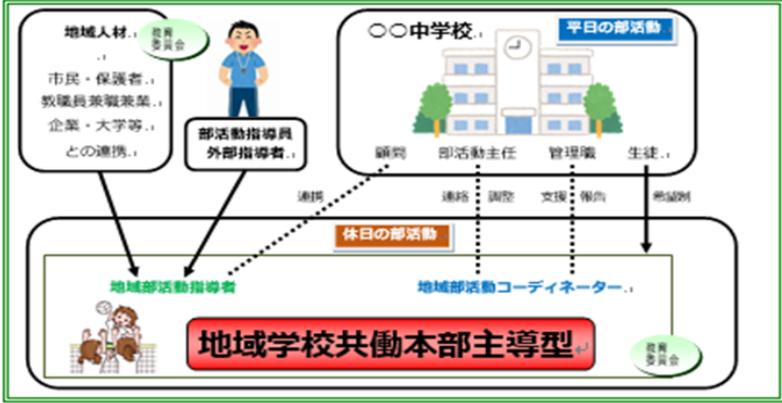


# 成果報告書

## 地域部活動推進事業

担当部署	愛知県教育委員会		
所在地	愛知県豊田市	運営形態	県・市区町村運営型
運営主体	豊田市教育委員会		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域部活動指導者の確保</li> <li>・地域部活動の活動場所の管理 など</li> </ul>		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各モデル校で、地域学校共働本部を核として吹奏楽が指導できる人材を集め、地域で生徒を育てる体制を構築する。</li> <li>・専門的な知識をもった指導者を確保し、生徒を指導してもらうことで生徒の技能向上を図る。</li> </ul>		
団体・組織等の連携	<p>モデル校が各学校の地域学校共働本部を中心として、下図のように取り組む。</p>  <p>・愛知県教育委員会主催地域文化部活動推進会議でモデル地域の実践報告を踏まえ、継続可能な地域以降に向けて協議する。</p>		
拠点校等	・豊田市内5中学校		
活動場所	・豊田市内5中学校 学校内		
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初はモデル校6校で行う予定であったが、1校は地域部活動指導者が見つからなかったため5校での実施となった。</li> <li>・各モデル校が各校の実情と希望により地域部活動指導者を確保し、個別の技術指導や全体指導を行なった。</li> </ul>		

## ○本事業による成果

- ・専門的な面から指導をしていただけたことで、生徒たちの技術の向上や意欲の向上につながった。
- ・多くの楽器を指導しなくてはならない顧問教師にとって、個々の楽器を指導していただけるために教員の負担軽減にもつながっている。モデル校によっては、専門の講師をしている地域部活動指導者が全体を指導しているので、教員の負担も減り、生徒たちのレベルも上がっている。
- ・地域出身の指導者もいるために、地域で生徒を育てるという意識も高まっている。

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・モデル校の中には、全体指導を講師の地域部活動指導員が行い、その他の地域部活動指導員が個々の楽器を指導している。一人一人に指導できる機会が増え、生徒の技術向上につながっている。
- ・モデル校によっては、専門の楽器を個々に生徒に指導をしているために生徒たちは満足のいく指導をうけることができている。

## ○運営上の工夫

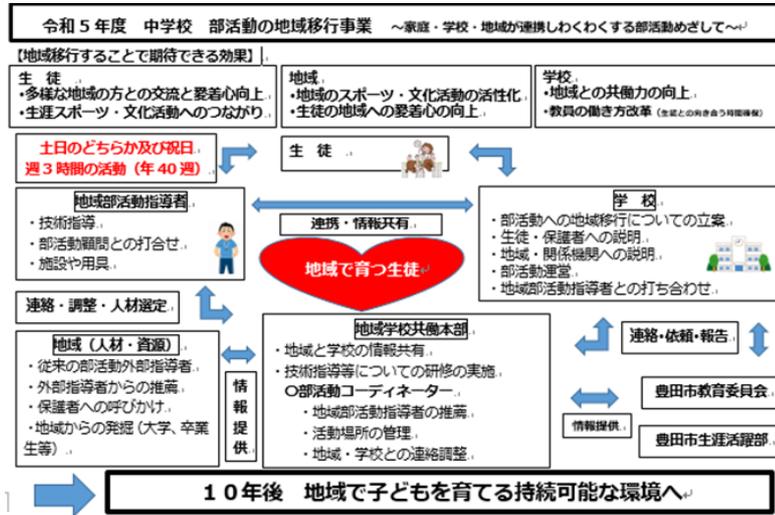
- ・地域部活動指導者については、地区によびかけて募集したり、もともと学校の部活動に関わりがあった方に校長や部活動コーディネーターが声をかけたりして確保している。校長が面接を行って決定しているため問題は起きていない。
- ・モデル校の中には、指導者研修会を行い、その中で部活動ガイドラインの遵守、熱中症対策などの研修を行っている。

## ○継続的な運営に関する課題

- ・顧問と地域部活動指導者がともに指導をする期間を設けたり、教員が兼職兼業で地域部活動指導者となったりして連絡調整ができるようにしている。
- ・人材確保については、学校や地域学校共働本部が地区によびかけ(地区の会議で情宣、ちらしの配付等)をしてきた。モデル校の中には地域部活動指導者が見つからなく苦勞している学校もある。また、大学生は卒業して社会人となり継続が難しい部分もある。
- ・活動場所については、すべてのモデル校で学校を使って行っている。モデル校は学校で日直体制をつくったり、顧問がきたりして学校関係者が鍵の管理をおこなっていたが、今後、学校関係者のいない地域部活動指導者となったときにはセキュリティの問題が出てくる。
- ・平日に部活動で指導して、休日は地域部活動指導者が指導をしていくようになったとき、レベルが高くなっていくと指揮者が変わることで、生徒に迷いがでないかが心配である。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

・現在モデル校6校で取り組んでいるが、令和5年度からは市内中学校28校すべてで地域学校共働本部型で段階的に進めていく。(段階的とは、地域部活動指導者が確保できた学校から順に進めていくこと)。  
 ・市内28校には、吹奏楽部だけでなく運動部について、令和4年度中に学校全体の部活動の地域移行に関する構想図を作成し、計画的に準備を進めてきた。



月	内容
4月	○教職員・生徒への説明 兼職兼業の確認 (説明)
9月	※地域部活動指導者の確保開始 (声かけ開始) ○地域への説明: コミュニティスクール連絡会議 ・区長、PTA 役員への説明 ・地域学校共働本部長への説明 ○地域学校共働本部と連携 ・地域部活動指導者の推薦依頼 ・従来の部活動外部指導者への地域移行の説明と部活動コーディネーターの依頼 ※地域部活動指導者の確保開始 (呼びかけを開始) 各会議等で依頼 ブロック内の小学校教職員等にも呼びかけ
11月	○保護者への説明を行う
12月	※地域部活動指導者の確保開始 (声かけを強化) ○地域部活動指導者候補に部活動参観依頼
1月	○地域部活動指導者候補と教員との合同指導期間開始 ・学校部活動の顧問と地域部活動指導者が指導方針や練習方法等を確認する ・練習試合や大会参加の引率について確認
2月	○「部活動の地域移行」構想案を提出
3月	○再度来年度に向けての計画の確認 ・部活動顧問と地域部活動指導者で最終確認を行い保護者へ通知する
R5 4月	○ソフトテニス部で部活動の地域移行を開始する ○他の部活動についても地域移行を考えていく

【令和4年度計画表】

【各中学校が作成した構想図】

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	各学校の吹奏楽部員
	募集方法	学校ごとで募集する
指導者	人数等	17名
	募集方法	学校ごとで募集する
参加者の移動手段		各学校で実施
活動費用	指導者謝金等	1人あたり 1時間1800円 × 3時間 × 40週
	その他	なし
活動財源	会費	なし
	その他	
スケジュール	基本活動	各学校で計画的に進めていく(上記参照)
	年間	各学校で計画的に進めていく(上記参照)
保険加入等		CHUBB損害保険

## 【活動の様子（写真添付）】

地域部活動指導員による楽器別指導

